

株式会社 京都銀行

京都市下京区烏丸通松原上る
郵便番号600-8652「京銀サステナビリティ経営サポート」の取り組みについて
～雄飛産業株式会社のSDGs・ESG経営をサポート～

京都銀行（頭取 土井 伸宏）は、取引先のSDGs・ESG経営支援サービスのひとつとして、「京銀サステナビリティ経営サポート」を行っております。今般、雄飛産業株式会社（代表取締役 川井 敬介、本社 滋賀県草津市）およびグループ企業（株式会社 三友（代表取締役 川井 千尋、本社 滋賀県草津））に本サービスをご利用いただき、当行がサステナビリティ経営方針策定をサポートしましたのでお知らせいたします。

本サービスは、お客さまのSDGs・ESGの取り組みを経営戦略に組み込むことを促進するもので、お客さまの経営理念、経営資源のほか、外部環境も踏まえたマテリアリティ（重要課題）を設定し、経営方針策定をサポートします。

当行は、今後も、取引先のSDGs・ESG経営をサポートし、お客さまのさらなる発展と持続性のある地域社会の実現を目指してまいります。

記

企業の概要（敬称略）

企業名（代表者）	雄飛産業株式会社（代表取締役 川井 敬介） 株式会社三友（代表取締役 川井 千尋）
所在地	滋賀県草津市馬場町358番地1
事業内容	ファインセラミック製品製造業
サステナビリティ経営方針 【詳細は別紙】	1. 強靱な企業であり続けるために 2. 活力ある草津No.1企業を目指して 3. 安全安心な職場環境づくり 4. 地域社会との共存共栄

以上

京都銀行グループでは、従来から「地域社会の繁栄に奉仕する」という経営理念に基づいた企業活動を行ってまいりました。今後も経営理念のより一層高いレベルでの実践であるSDGs達成に向け、地域の社会課題の解決に貢献してまいります。

【SDGs】2015年9月に国連で採択された、経済・社会・環境のあり方についての2030年までの世界共通目標。17のゴールと169のターゲットで構成されている。



雄飛産業 株式会社・株式会社 三友

重要課題

取組方針

数値・SDGs目標

1. 強靱な企業で あり続けるために

- ・災害などのリスクに備える体制の構築
 - B C P 委員会の設置
 - B C P 対策の導入・実施
 - B C P の策定とブラッシュアップ
- ・省エネ規格の加工設備の導入
- ・営業車両の E V 化と充放電機の導入
- ・各工程における検査体制の強化

2025年度までに

実行可能な
B C P の策定

2025年度までに
営業車両を
電気自動車へ切替

50%



社外不良件数

年間0件

2. 活力ある草津No.1 企業を 目指して

- ・女性の積極的な雇用
- ・技能手当制度の構築
- ・多能工化を目的とした配置転換の奨励
- ・外部講習の活用
- ・マニュアルの策定・事例の共有
- ・社内勉強会の開催
- ・工程管理システムの定着を目指した活用推進
- ・計画的・効率的な設備の運用

2030年度までに
製造現場における
女性比率

30%



2030年度までに
労働生産性の引き上げ

110%に
引き上げ
(2022年度対比)

3. 安全安心な 職場環境づくり

- ・安全委員会の発足
- ・入社時の安全講習の徹底
- ・安全パトロールの定期的な実施
- ・生産設備の適切なメンテナンス

労働災害

年間0件



4. 地域社会との共存共栄 ～ 私たちは未来への挑戦を～ 後押しします

- ・大学からの共同研究の要請への協力
- ・企画人材の育成
- ・新業務に挑戦する体制の構築
(新規事業・社内ベンチャー等に対する報酬制度)

2030年度までに

企画人員の
配置



持続可能な
社会の実現

企業理念

感謝
謙虚
素直
思いやり

ビジョン

1. 教育・職場環境の整備
2. 女性比率向上
3. 柔軟な働き方

経営方針

Faith
Fair
Family
Fine
Future

経営理念

サステナビリティ経営方針

我々も社会の一員であることを強く認識することで、SDGsが掲げる目標達成に向け、社会課題の解決に貢献する企業活動に取り組んでまいります。